

一般社団法人ロボカップジュニア・ジャパン
2021年度第4回理事会議事録

1. 日 時 : 2021年8月21日(土) 10:00~12:00
2. 場 所 : 大阪市北区豊崎3-20-1 インターグループビル ZoomにてWeb会議
3. 出席者
 - (1) 出席者 10名(うち委任状提出者1名)
大橋健、水野勝教、今井俊二、中島晃芳、島谷太、野村泰朗、森重智年、
松山森仁、政岡恵太郎、田中宏明(監事)
 - 欠席者 1名 勝村航太
 - (2) 理事以外出席者 3名
前田正久(事務局長)、浅沼まり(事務局)、休場万喜(事務局)
4. 議 事
 1. 茨城ブロック設立について
 2. ブロック長意見交換会について<内容確認>
 3. 来年度以降のサッカールールについて
 4. RoboCup2021 WORLDWIDE 報告
 5. Regional Rep会議報告
 6. 2022スケジュール
 7. RCAP2021 Aichiについて
 8. その他
 9. 議事録署名人の選任
5. 資 料
 - 資料1. 茨城ブロック新設の申請書
 - 資料2. RCJJ2021 ノード毎のエントリーチーム数
 - 資料3. レスキュー 2021振り返りと課題
 - 資料4. サッカー オンライン大会の評価・反省
 - 資料5. サッカー2022以降のルールについて
 - 資料6. RCJJ年間スケジュール(案)
6. 議事概要
 - (1) 議長の選出
 - ①大橋代表理事が議長に選出され開会を宣言し、本総会は、定款第18条の規定を満足しており、成立していることを報告した。
 - (2) 茨城ブロック設立について
 - ①大橋代表理事より、資料1に基づき、茨城ブロック新設の申請を受け、7月23日にZoomにてノード長の設楽氏よりヒアリングを実施し、参加チームの増加と活動拠点が県北、県南のため、ブロック大会時の移動が困難であるとの意見が多くあり、ブロック新設を申請することとなった旨説明がなされ、大橋代表理事からは規程順守等を説明した旨報告がなされた。茨城ブロック設立の可否を諮ったところ、反対意見はなく満場一致で承認された。
 - (3) ブロック長意見交換会について
 - ①大橋代表理事より、ブロック長意見交換会の議題の確認が行われた。
 - ②島谷理事より、日本大会2021オンラインの収支報告が行われた。本大会はRCJJ単独での開催となったため、最終的な決算報告は総会で行うとの説明がなされた。
 - (4) 来年度以降のサッカールールについて
 - ①松山理事より、資料5に基づき、サッカー技術委員会で承認がなされた2022年以降のルール変更について以下のとおり説明がなされた。
・RCJJの公式HPのサッカーブログに掲載されているとおり、WLサッカーオープンでのロボットのサイズ、重量規程が変更された。

・RCJJジャパンオープン2023より、以下の点を変更する旨説明がなされた。

(1) NLの参加資格変更

- ・年齢制限を設置。ブロック大会開催時、中学3年生までとする。
- ・ジャパンオープンNL参加後はWLに移行。複数回参加不可。

(2) NLコート変更

- ・WLコートに統一。今後ブロックでの運用を経てルール詳細に関しては検討する。

上記の変更はブロックへの影響が大きいため、NLの2023ルール変更は2021年度中に告知することとする。年齢制限の設置については、現在NLの参加数は増加しているが、NLからWLへの移行には至っていないため、低年齢の参加者にもWLにチャレンジしてもらいたいとの説明がなされた。

森重理事より、レスキュー、OnStageでもNLの参加資格変更を統一し、上位リーグへの移行を促してはどうかとの意見がなされた。水野専務理事より、2023年から同時に年齢制限を統一してはどうかとの意見がなされた。これに対し、森重理事は技術委員会にて、検討頂けるよう議論を進めたいとの意見がなされた。

中島理事より、NLでもコートの白線を使用するかとの問いに対し、松山理事より、白線はあっても対応しなくていいルールであるとの回答がなされた。

(5) RoboCup2021 世界大会報告

①国際担当の野村理事が欠席のため、運営に参加した理事よりコメントがなされた。森重理事より、LineとMazeでは日本大会と同様にループリック評価で行われ、デモンストレーションとしてシミュレーションも行われたとの報告がなされた。

政岡理事より、サッカーはシミュレーションの準備に時間を費やしてしまったため、大会準備が疎かになりアナウンスが遅くなるなど参加者に不便をかけたとの報告がなされた。また、ドイツのOC/TCが制作したギャザータウンは好評だった。

水野専務理事より、世界大会の公式な結果発表がされていないので、野村理事に結果等の報告を依頼することとなった。

(6) Regional Rep会議報告

①水野専務理事より、大きな変更点として、世界大会の国際ルールは、原則2年に1度改訂することが定められた。また、次年度の世界大会については、2022年バンコク、2023年ボルドーが予定されているとの報告がなされた。各リージョンへの参加チーム数の割り当てや、エントリーチーム数に大きな変更はないとの報告がなされた。

森重理事より、デモンストレーションでサッカーとレスキューのシミュレーションが実施されたが、今後リーグに格上げされる見込みはあるか、その場合、日本大会でも実施するかなど検討が必要になるので、情報があれば共有して欲しいとの要望がなされた。

(7) 2022スケジュール

①森重理事より、資料6に基づき説明がなされ、オンサイトでジャパンオープンが実施される場合は、競技運営指針の発表は9月より前にしたいとの要望がなされた。また、アジアパシフィック大会が11月25日から29日に開催されるため、この期間中にノード、ブロック大会が重ならないよう配慮して欲しいとの要望がなされ、午後からのブロック長意見交換会でも周知することとなった。

(8) RCAP2021Aichiについて

①水野専務理事より、日本大会の結果を基に、各競技担当者から推薦チームを決定して頂き、エントリーチームはほぼ決定している。海外からはロシア等から数チームのエントリーがあるとの報告がなされた。愛知県は、オンサイトで参加してくれるボランティアスタッフの募集を行うので、RCJJのHPでも同様の告知を掲載して欲しいとの要望がなされた。森重理事より、オンラインボランティアの募集も必要ではないかとの確認がなされた。

(9) その他

①水野専務理事より、前回と同様に2022年のジャパンオープン名古屋大会の実行委員会のメンバーとしてRCJJ理事も参加し、9月中旬予定の実行委員会の日程を後日連絡することとなった。

②大橋代表理事より、高橋前代表理事のフェロー授与について、すでに前回の総会で承認されているが、オンサイトで大会開催が中止になったため、まだ授与式が行えていないので、来年名古屋大会がオンサイトで実施できる場合は、トロフィー等の授与とHP掲載の要望がなされた。

③松山理事より、ジャパンオープン開催委員会でどのような議題があったのか、確認がなされた。大橋代表理事より、コロナの状況にもよるが、現状では中止になった2021年と同規模の会場と費用で実施することを前提に進めており、縮小するという議論はなく、前回同様に1月初旬ごろに最終の開催可否を発表するのではとの説明がなされた。森重理事より、大会を中止する場合は、もう少し早く発表して欲しいとの要望がなされた。島谷理事より、ハイブリット方式の可能性はあるかとの問いに対し、水野専務理事は、名古屋市はオンサイトでの大会開催のみを検討しており、ハイブリットやオンラインでの大会は考えていないとの説明がなされた。島谷理事より、遠方のブロックは、オンライン大会を希望するチームもあるのではとの意見がなされた。大橋代表理事より、ジャパンオープンは実機を使ったオンサイトでの開催が前提であるが、オンライン交流会は評判がよかったので、交流会やパネルディスカッションのような企画は、オンラインで行ってはどうかとの意見がなされた。島谷理事より、世界大会のギャザータウンは、画面上の近くにいるアバターどうしで会話を行うことができ、Zoomよりも気軽に選手間交流を行うことができ良かったとの意見があった旨報告がなされた。

④森重理事より、ジュニア関連の入門書の実現性について質問がなされた。大橋代表理事より、メジャーのいくつかのリーグで入門書のシリーズを計画しており、ジュニアの入門書も作成してはどうかとの話はあるが、誰が書くかという問題があるとの説明がなされた。森重理事、松山理事より、この件について技術委員会で議論するとの意見がなされた。

(10) 議事録署名人の選任

本日の議事録署名人として、今井俊二氏、及び島谷太氏にお願いすることとなった。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2021年8月21日

議 長 大橋 健

議事録署名人 今井 俊二

同 島谷 太

